

*Seifunankai Gakuin*

スーパーグローバルハイスクール  
研究開発実施報告書  
(第一年次)



**Think Global**  
Strength Reverence Honor

平成28年3月

清風南海学園 中学校・高等学校

# 本書の構成

## 巻頭言

### 第Ⅰ部 SGH 事業の概要

1. 本校の SGH 構想
2. シリオ・プランニング（SP）への道  
PEST ゼミ・講演会・特別授業等
3. 事業展開  
行事予定表
4. 運営指導委員と連携先

### 第Ⅱ部 一年次報告

1. オリエンテーション・G-Mission
2. 講演会・特別授業
3. Field Work（フィールドワーク）等
4. PEST ゼミ
  - 1) Political（政治学的分野）
  - 2) Societal（社会学的分野）
  - 3) Economic（経済的分野）
  - 4) Technological（科学技術的分野）
5. Global English  
（グローバル・イングリッシュ）

### 第Ⅳ部 資料編

1. 構想調書の概要・概念図
2. 講演会・特別授業
3. Field Work（フィールドワーク）等
4. PEST ゼミ
  - 1) Political（政治学的分野）
  - 2) Societal（社会学的分野）
  - 3) Economic（経済的分野）
  - 4) Technological（科学技術的分野）
5. Global English  
（グローバル・イングリッシュ）
6. ポスター発表
7. その他

### 第Ⅲ部 成果・評価・展望

1. 成果
2. 評価
3. 展望

## 編集後記

# －目次－

		ページ	
本書の構成		1	
目次		2	
巻頭言		3	
第Ⅰ部 SGH 事業の概要		5	
	1. 本校の SGH 構想	6	
	2. シナリオ・プランニング (SP) への道	7	
	3. 事業展開	8	
	4. 運営指導委員と連携先	9	
第Ⅱ部 一年次報告		11	
	1. オリエンテーション・G-Mission	12	
	2. 講演会・特別授業	14	
	3. Field Work (フィールドワーク) 等	16	
	4. PEST ゼミ	1) Political (政治学的分野)	18
		2) Societal (社会学的分野)	20
		3) Economic (経済的分野)	22
		4) Technological (科学技術的分野)	24
	5. Global English (グローバル・イングリッシュ)	26	
第Ⅲ部 成果・評価・展望		29	
	1. 成果	30	
	2. 評価	32	
	3. 展望	34	
第Ⅳ部 資料編		37	
	1. 構想調書の概要・概念図	38	
	2. 講演会・特別授業	42	
	3. Field Work (フィールドワーク) 等	44	
	4. PEST ゼミ	1) Political (政治学的分野)	48
		2) Societal (社会学的分野)	52
		3) Economic (経済的分野)	54
		4) Technological (科学技術的分野)	58
	5. Global English (グローバル・イングリッシュ)	60	
	6. ポスター発表	64	
	7. その他	66	
編集後記		68	

## 巻頭言

清風南海高等学校  
校長 平岡 正巳

本校は平成 25 年に創立 50 周年を迎えました。この半世紀の大きな節目を機会にキャンパスを一新すると同時に、従来の教育に第三千年紀にふさわしい教育の新生面を付加したいと考え、グローバル教育検討委員会を発足させました。その答申を受け、平成 27 年度より併設中学校から高等学校に進学する生徒を対象にグローバル・コースの設置をいたしました。

本校は従前から海外の姉妹校を通じて、先生・生徒の交流を盛んに実施しております。英国に 2 校、豪州、中国、フィリピンには各 1 校ずつあり、中でも豪州のブリスベーン・グラマー・スクール (BGS) との交流事業は、冬休みに BGS から交換留学生在が来航し、夏休みに本校から BGS を訪れるという形で 28 年間続いています。

昨年、文部科学省のスーパー グローバル ハイスクール (SGH) 事業の募集に伴い、その要項に従って新規のグローバル・コースのカリキュラムを整備して申請し、幸いにも SGH の認定を受けることができました。文科省の指導方針に基づく 5 年間の指定期間は、本校のグローバル・コースを盤石なものにするための貴重な期間であると考えています。

一昨年、高校生の希望者を対象に TOEFL iBT の講座を、中学生の希望者を対象に TOEFL Junior の講座を放課後に開講し、新しい施設のもとネイティブの先生を中心に指導していただきました。なお、グローバル・コース生 78 名の半数は TOEFL Junior 講座の受講生でした。

本校の所在地である大阪府高石市は万葉の時代から白砂青松の風光明媚な地として有名でありましたが、本校がこの地に創業の頃より、日本の経済発展のために沖合に人工島が作られ、泉北臨海工業地帯に一変し、石油コンビナートが形成された経緯があります。そのような地域性を活かして、本校 SGH プログラムのテーマを「エネルギーの観点から世界の改革を図る」といたしました。この課題を究めていく手法としてシナリオ・プランニング (SP) を採用し、高石市役所、滋賀県琵琶湖環境部、昭和シェル石油株式会社、京都大学、筑波大学、大阪大学、関西学院大学、立命館大学、産業技術総合研究所、宇宙航空研究開発機構の先生方にご指導を仰ぎ、新たな教育分野を拓こうと努力しております。関係者の方々にずいぶんお世話になりましたことに深甚の感謝の意を表する次第です。

第一回の中間報告会は、昨年 9 月 5 日の「文化芸術の日」の主要プログラムとして、生徒主体で研究発表・報告をさせて頂き、好評を博しました。ご覧いただいた方々からは「受験勉強だけでなく、こんな素晴らしい教育を行っているとは知らなかった」というコメントも頂きました。第二回の報告会は、この 2 月 27 日に中学 3 年生全員と保護者、他校の先生方等を対象に、司会進行も含めて文字通り生徒の手で運営されました。

この度、本校の SGH 活動を紹介する最初の報告書ができあがりました。研究内容も含めて不十分なところ、拙劣なところも多々あると思いますが、ぜひご一読の上、お気づきの点のご指摘を賜り、今後の糧とさせて頂ければ幸いです。